

平成 30 年度 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 サービス評価表

1. 事業所情報

事業所番号		事業開始年月日	2017年10月1日
法人名	社会福祉法人 生活クラブ		
事業所名	生活クラブ風の村定期巡回ステーションなりた		
事業所所在地	(286-0841)		
	千葉県成田市大竹字内沼370		
電話番号		FAX番号	
施設等の区分	連携型	サービス提供地域	千葉県成田市(八生地区周辺 ニュータウン地区周辺提供エリア)
自己評価作成日	2019年 2月 19日		

3. 法人・事業所の特徴

法人の特徴	赤ちゃんから障がい者、お年寄りまで、幅広い事業に取り組み、人生のすべてのステージで必要とされる支援、応援をすることを目指しています。また、支援する人もされる人も、地域の一員として役割を持ち、ともに社会を作っていく、地域づくりの視点から福祉を考え、取り組んでいます。
事業所の特徴	ご利用者様のニーズをとらえた、必要なサービスに柔軟に対応できるよう心掛けています。どのようなケアにも対応できるよう、職員一人一人がスキルアップに努めています。

2. 介護・医療連携推進会議

介護・医療連携推進会議への公表日	2019年3月20日
開催場所	風の村なりた 会議室

自己評価・外部評価 評価表

タイトル	項目番号	項目	自己評価					外部評価コメント
			実施状況					
			できていない	ほとんどできていない	がなでいき	て全いく	て全いく	
I 構造評価 (Structure) [適切な事業運営]								
(1) 理念の明確化								
サービスの特徴を踏まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている		○			・わかり易く説明している。 ・自立を意識したケアができています。	・理念に沿って業務をされています。 ・自宅でその人らしく過ごせるよう理念を持って支援できています。
(2) 適切な人材の育成								

専門技術の向上のための取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している		○			・できています
	3	運営者は、専門技術(アセスメント、随時対応時のオペレーターの判断能力など)の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している		○		・毎日の業務に追われているように感じる	・定期的に職員の研修を行っています。
	4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している		○		・毎日の業務に追われているように感じる	・できている
介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている		○		・共有の機会の確保については不明 ・動具の工夫があり、効率的である。	・できている
(3) 適切な組織体制の構築							
組織マネジメントの取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置(業務・シフトの工夫)を行っている		○		・柔軟に対応している ・人員不足ではないかと感じる ・(できない)時の時間帯が存在しない。	・シフトの変更等行っている。 ・毎日適切に業務につかわれておられません。
介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等(サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等)を、サービスの提供等に適切に反映させている		○		・開催しているか反映しているか不明	・行っている
(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備							
利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、(個人情報管理に配慮した上で)必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている		○		・ややできている開催しているか反映している。 ・口頭が多い。 ・動具の工夫があり、効率的である。	・毎回、状況を報告していただきます。
(5) 安全管理の徹底							
職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている(交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等)		○		・出来ている。	
利用者等に係る安全管理	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている		○		・出来ている。	・出来ている。
II 過程評価 (Process)							
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供							
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							
利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている		○		・工夫している。	・アセスメントされてケアに活かされている。 ・出来ている
	12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている		○		・適切かどうかの漬け合わせが出来ていない。	・出来ている

利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている		○			・出来ている。	○
	14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないよう、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている		○			・ターミナルケア時も(できる事)に着目できている	○
(2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し								
計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている		○			・利用者にアドバイスしながら対応してもらっている。	・柔軟に対応してくださっています。 ・臨機応変に対応してくださった。 ・出来ている
継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている		○			・定期的な報告はない。	○
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供								
介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を活かした役割分担が行われている		○			・行えている。	出来ている。
看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている		○			・認知があり理解が乏しく受け入れられない事あり。	○
(4) 利用者等との情報及び意識の共有								
利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている		○			・ややできている ・行われているか利用者理解が出来ているか？ ・変化を認めた時にはすぐに報告がある。	・モニタリングと計画書を頂いております。 ・サービスの趣旨がわからない方(精神疾患)あり。 ・十分な情報提供、説明が行われている。
利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている		○			・努力している ・変化を認めた時にはすぐに報告がある。	・説明は丁寧に行われている
	21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている		○			・努力している ・変化を認めた時にはすぐに報告がある。	・説明は丁寧に行われている
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント								
(1) 共同ケアマネジメントの実践								
利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている		○			・利用者等の状況の変化に合わせたケアは出来ているのか、日々変化しているのにケア内容はそのままと言う事もあった。 ・情報をもらい提供日時は任せている。 ・変化を認めた時にはすぐに報告がある。	・予定通り提供していただいております。 ・スマケアでいつでも見て知ることができる。

	23	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案(地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む)が行われている		○				・家族へ協力してもらえるよう提案していただいております。
定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている		○			・行えている。 ・変化を認めた時にはすぐに報告がある。	・達成状況の共有迄、訪問が続かなかった。 ・行っている。
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献								
利用者の在宅生活の継続に必要となる、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要となる、包括的なサポート(保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む)について、必要に応じて多職種による検討が行われている(※任意評価項目)		○			・行えている。	・買い物支援の手段の提案等が出来ている。
	26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている(※任意評価項目)		○			・入院日直前まで必要なケアの提供があった。	・出来ている ・されている
多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要となる、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている(※任意評価項目)		○			・共有していない必要なケアの提供があった。 情報共有ツールの活用	
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画								
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案								
介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている		○			・行っている ・情報共有ツールの活用している。	○
	29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている		○			・毎月、事例報告会を開催している ・今後も必要	・行っている
(2) まちづくりへの参画								
行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している		○			・今後も必要	理解し努力している。
サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている		○			・現在の拡大は難しいと思うが、エリア外でも一定期間のサービスは行っている。 ・今後も必要	○

安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等(保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等)が行われている(※任意評価項目)		○			・少しずつ情報収集は出来ていると思う。 ・今後も必要	○
Ⅲ 結果評価 (Outcome)								
サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている		○			・途上にあると思う。少しずつ情報収集は出来ていると思う。 ・効果が見えにくい ・個別的なケアが受け入れやすい仕組みになっている	・体調の大きな変化はなく、安定して過ごすことができいております。
在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている		○			・安心感は大きくなっている。 ・個別的なケアが受け入れやすい仕組みになっている	・ご本人、家族から感謝されております。 ・コンスタントに入ってもらえる事で安心感が得られていたと思います。 ・得られている。